

# 清掃業界の人材不足に対応する2つのプロジェクト ～ロボット掃除機導入とトイレお掃除パック企画の検討～

団体名●野林ゼミナール／代表者名●野林晴彦（経済学部経営学科・教授）

## はじめに(背景・目的・目標)

2年次野林ゼミは共創インターンシップに参加し、協力企業の株式会社アドバンス北陸サービス様から提示された「2つの課題テーマ」に取り組んだ。

テーマ1は「清掃用ロボット導入戦略の企画検討」であり、人材不足および清掃社員の高齢化という問題に対し、清掃用ロボットの本格導入に向けた具体的な検討である。またテーマ2は「お掃除屋さんがプロデュースした安心・安全なトイレ掃除パック商品企画」であり、コンビニ等でのトイレの衛生管理の効率化と、人材不足解消を目的に、サブスク式のお掃除パックの商品企画立案である。非常に実戦的なこの2つのテーマについて、グループ別に企画検討を行った。

## 活動内容

### 1)会社訪問および課題提示(10月15日)

株式会社アドバンス北陸サービスをゼミ生全員で訪問し、杉本健一社長より会社を取り巻く環境と会社の現状、および社員の皆様より各テーマについて説明を受けた。また実際の清掃方法や、ロボット掃除機の使用方法を教わった。

### 2)グループ別検討①(10月22日～12月3日)

テーマ、グループ別に分かれ、それぞれ検討を行った。ロボット掃除機の実際の操作方法の確認や、清掃用具の体験と評価などに取り組んだ。

### 3)会社からのヒアリングとアドバイス(12月10日)

学内のゼミ活動(テーマ・グループ別)に、株式会社アドバンス北陸サービスより杉本社長はじめ6名の方に参加いただき、進捗確認とアドバイスを受けた。

### 4)グループ別検討②(12月24日～1月14日)

さらに検討を重ね、発表準備を行った。

### 5)ゼミ内報告会(1月21日)

株式会社アドバンス北陸サービスの皆様の同席を得て、報告会を実施した。



12月10日 ヒアリングとアドバイス

## 成果、結果の考察

テーマ1では、ロボット掃除機と人の掃除による比較検討を実施するとともに、ロボット掃除機の提供方法の選択肢とそれぞれの利益性について提案を行った。

テーマ2では、まず市場調査を行い、それをもとに商品コンセプトを決定し、選べる商品パックおよび販路検討を行った。また一部の商品パックについて実際に店舗等での感想も確認した。

ゼミ生にとって、実際に企業の立場に立ち、顧客を考えながら企画立案を行うという、非常に貴重な学びの機会であった。試行錯誤しながら、実験や調査を行い、企画を検討する中で、ビジネスへの考え方を学ぶことができたと思われる。

## 今後の課題、展望

今後、ゼミ生たちは、今回修得した考え方・視点をもとに卒業研究に取り組んでもらいたい。

多大な時間と労力を割いていただいた株式会社アドバンス北陸サービスの皆様に、心より感謝を申し上げたい。今回のゼミ生の提案内容が少しでも、実際のビジネスに役立つことを願っている。